

山形市環境審議会会議録

開催日時 令和6年8月29日（木）午後2時30分～午後4時

会 場 山形市役所11階 大会議室

出席者 2ページ委員名簿・3ページ事務局名簿のとおり

傍聴者 0名

次 第 1 開会（環境課 課長補佐）

2 審議会委員紹介

3 会長・副会長選出

結果 会長に伊藤清郎委員、副会長に峯田典明委員を選出

※山形市環境審議会条例第6条により会長が議長となり、議事録署名
委員に峯田委員・武田（照）委員が議長より指名される。

4 会長・副会長挨拶

5 報告

(1) 「第4次環境基本計画」の進捗状況の報告について…**資料**

(2) その他

6 閉会（環境課 課長補佐）

※5 報告事項の議事内容の詳細は、4ページ以降のとおり

第1号委員(知識経験を有する者) 12名(敬称略)

氏 名	備 考
長 澤 愛	市 議 会 議 員
高 橋 正 樹	市 議 会 議 員
高 野 英 昭	市 議 会 議 員
武 田 聡	市 議 会 議 員
伊 藤 清 郎	山形大学名誉教授 (地域教育文化学部)
柳 澤 文 孝	山形大学名誉教授 (理学部) 山形大学蔵王樹氷火山総合研究会 副所長
三 浦 秀 一	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授
杉 野 誠	法政大学 人間環境学部教授
本 木 康 夫	山形市自然環境調査会 委員
渋 間 淳 一	山形市自然環境調査会 会長
山 口 佳 子	山形市医師会 副会長
峯 田 典 明	山形県弁護士会 弁護士

第2号委員(関係団体の代表者) 5名(敬称略)

氏 名	備 考
武 田 照 子	山形市消費者連合会 副会長
五十嵐 祐 子	山形商工会議所女性会 副会長
山 崎 多代里	特定非営利活動法人 知音 理事長
横 山 佳 子	J Aやまがた女性部 副部長
河 合 麻 衣	特定非営利活動法人環境ネットやまがた 主任

第3号委員(関係行政機関の職員) 1名(敬称略)

氏 名	備 考
大久保 剛	山形県村山総合支庁保健福祉環境部 環境課長

※欠席者 土肥委員

事務局名簿

幹事 4人

職名	氏名
環境部長	板垣 裕子
環境部次長（兼）環境課長	豊後 真
ごみ減量推進課長	鷹野 優貴
廃棄物指導課長	貝羽 芳信

関係課の長等 4人

職名	氏名
公共交通課長	宮城 友嘉
農政課課長補佐（兼）農産係長	佐藤 政利
農林部次長（兼）森林整備課長	石岡 純一
公園緑地課長	田村 信博

書記 7人

職名	氏名
環境課課長補佐	遠藤 操
環境課課長補佐（兼）自然共生係長	佐藤 由英
環境課地球温暖化対策係長	鈴木 千恵
環境課環境保全係長	五十嵐 宗利
環境課主幹	櫻井 卓巳
環境課主任	奥山 菜央
環境課主事	小山 和己

5 報告

(1) 「第4次環境基本計画」の進捗状況の報告について

	<p>資料第4次環境基本計画の進捗状況</p> <p>※資料に基づき、進捗状況について説明の上、意見および質疑応答の時間を設けた。</p>						
事務局 (環境課長)	<p>基本目標1「脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）」</p> <p>基本目標2「循環型社会」</p> <p>基本目標3「自然との共生」</p> <p>基本目標4「生活環境の保全」</p> <p>基本目標5「環境意識の向上」</p> <p style="text-align: right;">について説明</p>						
議長	<p>基本目標1から5についての説明でした。ご意見・ご質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。</p>						
委員	<p>資料1ページ左の省エネ健康促進住宅補助事業について、市内の新築住宅に占める、市が補助した省エネ住宅の割合は把握しているのでしょうか。</p>						
事務局	<p>手元に数字がございませんので、後ほど回答します。</p> <p>(環境課回答) 新設住宅着工数に対する各年度の補助件数の占める割合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>1.46%</td> <td>2.78%</td> <td>3.79%</td> </tr> </table>	R 3	R 4	R 5	1.46%	2.78%	3.79%
R 3	R 4	R 5					
1.46%	2.78%	3.79%					
委員	<p>公表するものではないと思いますが、一つの事業の実施でどの程度の二酸化炭素削減効果が得られるのかは把握しているのでしょうか。</p>						
事務局	<p>省エネ家電買い換えキャンペーンのように、おおまかに効果の把握が可能なものもあれば、逆に難しい事業もございますが、なるべくそういった視点で評価をできればと考えております。</p>						
委員	<p>資料3ページ左の山形まるごと活用・体験推進事業について、グリーン・ツーリズム取組者数が3年間横ばいで推移しているのはなぜでしょうか。</p>						
農政課 課長補佐	<p>グリーン・ツーリズム取組者数は事業に携わった事業者数を指しており、観光農園及び直売所での取組が中心となります。新しい事業者ができ</p>						

た場合は農政課としても取組への参加を呼び掛けますが、令和3年度から令和5年度では事業者が増加していないため、横ばいでの推移となっております。

委員 [資料]1 ページに省エネ家電・省エネ設備等導入支援について記載されていますが、今年度は事業内容を変更して支援を行っているかと記憶しています。そちらの状況はいかがでしょうか。また、事業内容の変更に伴い、今後の実績の評価方法なども変更されるのでしょうか。

事務局 省エネ家電買い換えキャンペーンについては令和4年度に1回、令和5年度に2回実施しております。今年度は地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、高効率空調機器、高効率照明機器、高効率給湯機器等を設置する方に対し、上限はありますが補助率2分の1の補助事業を実施しております。今後の実績の評価方法については、可能な範囲で二酸化炭素排出量などの基準により評価を行えればと考えております。

委員 [資料]3 ページ左にスマートシティ推進事業、Ma a Sなどの記載がありますが、こちらの事業の現状について教えてください。

公共交通課長 Ma a Sについては、複数の公共交通を最適に組み合わせ、検索、予約、決済等を一括で行えるサービスです。山形市では昨年2月からやまがたMa a S「らくのる」として、スマートフォンアプリを活用し、山交バス・ベニちゃんバス共通の一日乗り放題チケットなどの販売を開始しております。今後につきましても、公共交通のチケットや施設で使えるお得なサービス券などを充実し、公共交通の利用促進と、地域経済の活性化に寄与してまいります。

委員 [資料]3 ページ左に市有林、環境保全林等の整備についての記載がありますが、森林環境税の現状について教えてください。

森林整備課長 令和元年度に森林環境税と森林環境譲与税という制度が創設されておりましたが、今年度から森林環境税の課税が徴収されておりますが、森林環境譲与税の部分は、前倒しで令和元年度から市に譲与されております。
譲与された額につきましては民有林の中でも私有林整備に活用しておりますので、資料に記載の市有林については、森林環境譲与税、いわゆる環境税を財源とした譲与税を充てておりません。

委員	<p>今年度、市の一般財源200万円で実施している建築物遮熱・断熱対策補助事業を活用し、遮熱フィルムを設置しました。前年度の消費電力と比較すると、100～200kW程度の削減効果があり、費用対効果として優れたものだったと考えております。</p> <p>昨年実施した、事業者向け補助に対しての市の評価、モニタリングなどをされているか、そしてまた今後同様の補助事業を拡大していくつもりがあるのか、公共施設についても取り組んでいく予定があるかお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>補助事業の終了後に時期を見計らい、アンケートを実施し、頂いた意見を次の補助事業に活かしてまいります。</p> <p>公共施設につきましては、先ほど申し上げた地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、LED化と太陽光発電設備の設置を中心に温暖化対策を実施していきたいと考えております。</p>
委員	<p>資料5 ページ右の「空き缶等散乱防止対策事業」について、花笠サマーフェスティバルでの啓発活動を実施しているようですが、効果はありましたでしょうか。</p>
事務局	<p>美化推進員の方々とともに、のぼりを持ちごみ拾いをしながらティッシュを配り、ポイ捨て防止の周知啓発を行ったものです。現在、街中にごみはほぼ落ちていない状況です。しかし、こういった地道な活動がきれいな町を実現していると考えておりますので、今後も継続して取り組んでまいります。</p>
委員	<p>資料6 ページ左上の評価指標②新規就農者数（累計）について、なぜ累計での指標としているのでしょうか。</p>
農政課 課長補佐	<p>後ほど回答させていただきます。</p> <p>（農政課回答）農業を行うには、作物の栽培方法、病虫害の対策、収穫のタイミングなどの実践的な知識・技術に加え、農地法、農薬取締法のような法律などについての専門的な知識が必要となります。新規就農のためには、研修やセミナーに参加し、これらの専門的な知識や技術を学ぶ必要があり、習得にはある程度の期間を要します。そのため、単年度ではなく、より実態に即した累計での新規就農者数を指標とし、長いスパンの中で新規就農者数の増加を目指しております。</p>

委員 [資料]7 ページ右上に鳥獣被害対策の強化についての記載があります。以前、山形新聞でニホンジカの増加が取り上げられていましたが、繁殖力も高いため、農作物被害に加え、下草や樹皮の摂食により、森林面積の低下などが懸念されます。ニホンジカ対策の状況はいかがでしょう。

事務局 昨年秋、馬見ヶ崎川の河川敷で目撃された事案もあり、市民の方にも身近な問題と捉えております。一方で、抜本的な対策を講じることによって被害を必ず防止できるような問題ではございませんので、専門家の意見を聞きながら調査・研究を行い、対策を考えてまいります。

委員 岩手県では捕獲が追い付かないような状況になっているようです。山形市でも、組織横断的な対応をお願いできればと思います。

事務局 農村整備課・県と連絡調整しながら、対応を考えてまいります。

委員 [資料]9 ページ中段と右下に五堰についての記載がありますが、五堰はどちらの部署で所管しているのでしょうか。また、管理・整備はどなたが行っているのでしょうか。五堰が世界かんがい施設遺産に指定される前のことですが、梅花藻の葉にごみが溜まることもあってか、全て刈り取られてしまったことがありました。梅花藻はきれいな流れの指標の一つとされていますので、その点を認識して清掃等がされているのか気になりました。

事務局 農村整備課が窓口と思われませんが、確認の上、後日回答します。
(農村整備課回答) 五堰維持管理は、五堰の水を利用している各水利組合が行っております。しかしながら、水利組合員の減少・高齢化により、全ての水路の維持管理を行うことは困難となっていることから、草刈り等の軽微な維持管理作業については、部分的にはありますが農村整備課が業者に業務委託し対応しております。また、地域によっては、町内会やボランティア団体の方々による水路清掃や草刈りなどの維持管理が行われております。
整備・修繕等についても一義的には各水利組合が行うことを原則としておりますが、市民の生命等に危険が及ぶ可能性が高いと考えられる場合は、市が修繕を行うこともあります。

委員 [資料]10 ページ右下に美わし山形スクールエコプランについての記載がありますが、「気候変動問題」や「省エネ・再エネ」についての記述は

見当たりません。山形市学校環境教育推進計画にそういった内容が盛り込まれていないのであれば時代遅れな計画ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

内容を所管課に確認の上、後日回答します。

(学校教育課回答)資料10ページの美し山形スクールエコプランの事業内容の記載について、一例のみの記載となっておりますが、山形市学校環境教育推進計画において、「地球温暖化」や「資源の枯渇」などが地球環境に深刻な影響を及ぼすことを懸念し、「自然保護・保全」や、「省エネルギー、省資源」に関わる活動の推進などについて記載しているところです。昨年度、山形市の学校では、各学校の「美し山形スクールエコプラン」に基づき、節電や節水、牛乳パックのリサイクル、エネルギー回収施設の見学を行うなど、「省エネ・再エネ」について取り組んでいる学校がありました。また、地域環境の保護として、減少している樹氷復活のため、アオモリトドマツ稚樹移植に取り組んでいる学校もありました。

今後、山形市の次世代を担う子どもたちに対して、環境意識を高める教育がさらに充実できるよう山形市学校環境教育推進計画の内容についても精査し、検討してまいります。

委員

資料10ページの評価指標③自然学習(活動)の参加者延べ人数についてはどのように集計しているのでしょうか。

事務局

自然学習(活動)に関わる公民館講座など、関係する事業を行っている課に照会を行って算出しております。

議長

資料9ページ右下の「七日町歴史と文化活用街区整備事業」について、私も少し携わっておりますが、文化スポーツ部文化創造都市課で文化財保存の活用地域計画の策定中で、文化庁から10月に認定を得られるように取り組んでおります。蔵王の山岳信仰・山寺・白鷹丘陵の歴史文化、山形の重層的な歴史文化・生活空間などは、少子高齢化により消失してしまう危機にありますので、これを防ぎ、指定文化財を後世に継承していくための計画となっております。実践には本日の委員含め、市民の方々のご協力が不可欠な計画であり、市としても課横断的な協力が必要かと思っております。環境課として、計画内で触れていただけるとありがたく思います。

委員	<p>資料9 ページ右上に記載の保存樹指定事業について、指定数がわずかですが減少しております。木もいずれは老木になりますので、このままではいずれ保存樹がなくなってしまいます。他県では保存樹が伐採されてしまったことが問題になっていましたが、こういった対策を講じていますか。</p>
事務局	<p>山形市では保存樹の登録制度を定めており、併せて、補助金の交付を行って維持管理を支援しています。更に、自然環境講座「保存樹めぐり」を行い、保存樹の必要性・重要性について市民に周知啓発を行っており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えております。</p>
委員	<p>台風などで保存樹が倒壊する事例も考えられると思いますが、保護などは市で行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>登録制度はございますが、管理は基本のご自身で行っていただいております。そのような事故の場合も、当市の補助を活用しながら、ご自身で行っていただくこととなります。</p>
委員	<p>基本目標の評価指標の中には、現在地において既に目標値を上回っているものもあり、見方によっては、目標の立て方が消極的だったと思われる可能性もあります。特に、温暖化対策について、昨今の状況を踏まえると高い目標設定が必要になるのではないかと思いますので、見直しの際に検討をお願いします。</p> <p>また、事業実績について、補助件数のような数字で書かれたものが多いですが、事業ごとの目標値を達成していくことが全体の目標達成につながると思いますので、事業実績毎に評価を行えるようにしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>資料2 ページ右下記載のコミュニティサイクルについて、最近町でサイクルポートをよく見かけるようになったと感じておりますが、実際に利用者は増えているのか、どんな方がよく利用されているのか教えていただきたく思います。</p>
公共交通課長	<p>コミュニティサイクルについては、令和4年10月から導入を開始した事業です。現在市内にポートが84か所、自転車台数が288台ございます。右肩上がりに登録者数も増えておりまして7月末現在で1万6千人を超えており、一日の平均利用回数も1台当たり1.2回ということで、頻</p>

繁に利用いただいている状況です。利用者については、20代から50代の方が8割程度を占めており、3割程度が20代の方です。山形駅と山形大学、山形駅と市役所間などの利用が見られ、通勤又は通学に多く使われているものと考えております。

委員 山手に住んでいるため、鳥獣被害対策については引き続き取り組んでほしいと感じました。

また、ごみについて、以前はペットボトルキャップの回収を行っている場所があったのですが、最近は見当たらないように思います。回収を行っている場所はありますか。

ごみ減量推進課長 ペットボトルのふたについては、ごみの分別区分としてはプラスチックごみとなります。持ち込んでいただくと引き取りも可能な民間事業者もあり、パンフレット等もございますので、後ほど紹介いたします。

委員 今回、11ページ分の資料でご説明いただき、山形市の環境整備が様々なことで成り立っていることを学びましたので、来週の商工会女性理事会で内容を共有させていただきたいと思います。先ほど、目標が消極的だったのではないかという話もございましたが、努力の結果により現時点で目標値を達成している可能性もありますので、引き続き状況を見ていきたいと思います。

委員 今回、これだけ様々な補助事業が展開されていることを初めて知りました。広報等に力を入れ、より多くの市民・事業者へ周知を図ると良いと思います。

事務局 周知については広報やまがた、Facebook、LINE、ホームページ、コミュニティセンターだより等で周知を行っておりますが、より一層の周知に努めてまいります。

委員 様々な取組を行っている中で、市民の方が脱炭素への取組や運動などの成果を実感できるような仕組みを作っていけたらと全体を通して感じました。

(2) その他

地下水における「PFOS及びPFOA」の暫定指針値超過について、事務局より報告（質疑応答なし）

6 閉会（環境課 課長補佐）